



第1764回例会プログラム

第2011年3月30日(水)くずはゴルフ場

会長テーマ 「ロータリーは家族 内なる力を高めよう」

♪今日の歌「われら日本のロータリアンの歌」

われら日本のロータリアン
一つの仕事をする時も
真心こめて考える
これは誠か真実か

「くずはロータリークラブ会員による…私の履歴書」

このコーナーは他の会員に対して自分をアピールする場と考えています。
「私はこんな人間」「ロータリーでの忘れられない思い出」などなんでもOK。

今回は 中野 保博 会員

私は昭和20年1月19日、枚方市山之上で生まれました。以後、今日までずっと枚方市に在住しております。3人兄弟の末っ子で、兄は19才、姉は13才年上で、ほとんど一人っ子という状態で大事に育ててもらいました。

高校時代から写真に興味を持ち、当時としては分不相応な高価なカメラを父に無理をいって買ってもらいました。大学でも写真部に入部しました。卒業してからも写真の道に進みたいと考えて、知人の紹介もあり、あるスポーツ新聞の報道部に入社するはずだっ



串本沖にてトローリング

たのですが、父母の猛反対に

あい(その理由は、当時私は今と違って細身でしたので、重い機材をかついで走り回ったら死んでしまうという親の心配でした)当時父が始めたビルの管理業を手伝うことになりました。以来40年余現在に至っています。

15年ほど前には海釣りに興味を持ち、それが高じてクルーザーまで買うことになり、カジキ、シイラ等の大型の魚をゲットしたり、クルージングを楽しんだり、海の遊びに没頭しました。

年とともに船に乗ることもおっくうになり、現在は自然の中の花や鳥、蝶などを主な被写体として写真を撮っております。また1年に1~2回程度海外へ撮影旅行に行き、自然の美しさに感動を覚えています。



カジキ104kg 2007年勝浦沖にて

家族は妻と息子二人です。長男は本社の専務として、次男は東京事務所の責任者として家業に従事しております。息子も成長して、それぞれに仕事も任せられるようになりましたので、これからは時間をかけて自分が納得のいくような写真が撮れることを願って、心弾ませて人生を楽しんでいきたいと思っております。



モルイディブ(ワン&オンリー・リーティラ島)



ギリシャ(エーゲ海サントリーニ島)



自宅の庭にて



第1764回例会プログラム



- 12:40 開会の点鐘
- 友情と親睦の握手
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
「われら日本のロータリアンの歌」
- お客様紹介**
- 幹事報告**
- 委員会報告
・出席状況報告
- 卓話「よく噛んで健康」
- その他
・ニコニコBOX報告
- 13:30 閉会の点鐘

司会 林(克)副SAA

岩本会長
全会員

〃

〃

親睦委員
山口(尚)幹事

中谷副委員長
三木 彰 会員

林(克)副SAA
岩本会長

■ 会長通信

この春は、卒業式どころではないであろう東日本大震災の被災地の惨状が頭を離れない。

それでも最近被災地で涙ながらの心温まる卒業式が教室や校庭の片隅で行われている映像が流れて又、涙をさそっている。

しかし彼ら、彼女らのけなげな言葉を聞いていると必ずしも私が今の日本を嘆いている事ばかりでなく、だいじょうぶなんだと力強く思える所もある。

私達の時代の卒業式は仰げば尊しであった。一番で師の恩を歌い、二番で親への孝行を歌っている。

簡潔な文語調の詞には気高い精神が歌いあげられています。

今日はみんなで口ずさんでみましょう。

♪仰げば尊し 我が師の恩 教への庭にも
はやいくとせ 思えばいととし
この年月 今こそ別れめ いざさらば

互いにおつみし日ごろの恩 別るのちにも
やよ忘るな 身を立て名をあげ
やよ励めよ 今こそ別れめ いざさらば

朝夕なれにし 学びの窓 螢の灯火

積む白雪 忘るるまぞなき ゆく年月
今こそ別れめ いざさらば

哀調をかき立てる様な胸に重く響いてきて、じんときて、涙になりなんとも切ない気持ちになるものですね。

今年の桜はことのほか遅い。 彰夫君！！
ふる里は遠きにありて思ふもの そして悲しく
うたふもの よしやうらぶれて 異土の乞食と
なるとても 帰る所にあるまじや ひとり都の
夕暮れに ふる里を思ひ涙ぐむ その心もて
遠き都にかへらばや 遠き都にかへらばや

— 犀星 —

「私達は早く大人になってこの美しい郷里、岩手の為に尽くします。きっとこの郷里を復興してみせます。」

悲しいのだからに涙もみせず、齒をくいしばり被災地での卒業式での中学生のしぼり出す様な言葉です。

お願いします。心から願っています。必ずや立ち直って美しいふる里の復興に共に頑張りましょう。



卓 話



「将棋の話」

棋士 東 和男 様(7段)

①公益社団法人と八百長問題

日本将棋連盟は、4月1日付けで公益社団法人の認可を受ける運びとなった。棋士はすべて事業主扱いとなり、棋士だけで構成されていた理事会に外部理事が入る。相撲協会の問題になっている八百長については、将棋連盟にはまったく存在しない。現会長の米長邦雄が若き頃、「相手が重要であり、自分に関係のない一番ほど全力で戦うべき」と公言した理念が浸透しているから。私自身も大変お世話になった先輩が昇級を懸けた一番に自分には関係ない勝負ながら、全力で臨み負かしてしまったことがある。八百長どころか人情相撲さえも存在しない。

②将棋連盟の構成

基本的には棋士と事務局職員で構成され、棋士は現役が現在158名、順位戦を戦う棋士122名、フリークラス35名、東日本大震災の影響で三段リーグの最終日が今日に延期になっていて、2名増えることになる。

引退棋士が45名、よってプロ棋士は現在日本全国で203名ということになります。海外にはまったくいない。囲碁の世界とはちょっと違うところですね。

女流棋士が38名、ちなみに男性棋士は全員奨励会(プロ棋士養成機関)を卒業しているが、女流棋士は別制度でプロを認定されている。

③棋士になるには

プロ棋士になるには奨励会に入会し、そこを卒業しなくてはならないが、まず入会するに当たってプロ棋士である師匠が必要。入門し、それから試験を受けることになる。

奨励会は6級～三段で構成されているが、6級でアマ五段くらいの実力が必要。同じ段級でもプロとアマでは格差がある。年に1回行われる入会試験、受験者は東西合わせて70～80名。そのうちの20名程度が入会となる。勿論入会しただけでは当然意味がなく、卒業してやっとプロ棋士の資格が与えられるが、6級から順次上がって、一番上の三段は半年周期のリーグ制。

成績優秀者の2名だけが卒業し、年に4名のプロ棋士しか誕生しないシステム。全国から秀才が集まっているものの、そのほとんどが夢破れて去っていく。受験、入会するに当たっては棋力だけではなく、年齢制限もある。6級で16歳以下、1級で19歳以下、そして22歳までに初段に上がれない者は自動的に退会処分となる。

また三段リーグでも年齢制限が設けられていて、26歳までに四段になれない者も退会させられる。四段になって初めて棋士の資格を得られるが、到達するまでは至難の業。

④棋士の所得

棋士の年間賞金・対局料ランキング、平成22年度ベスト20が発表されたが、1位の羽生善治名人がタイトルを二つ持ちながら1億1576万円。2位の渡辺明竜王が6240万円。3位の久保利明二冠(棋王、王将)が4829万円。11位の谷川浩司九段が1925万円。プロ棋士四段になった時の最低限固定収入は一般的な大学卒の初任給よりもはるかに低く、公益法人認可にともなって固定収入の形は撤廃。

⑤何手読むか

棋士によって若干答え方が違うが、普通は100手から200手。その昔、木村義雄14世名人は「数千手」と答えて聞いた人の度肝を抜いたことがある。100手、200手といっても、縦一直線に読む数ではなく、現在の局面で候補手が三つあり、そのそれぞれに相手の候補手が三つあり、その三つにさらに候補が三つある、と読んでいけば、枝葉を入れて数百手にはすぐに到達する。私自身、縦一直線で読む数は20手前後。ただ、読むという作業は相手の立場になった最善手を想定することが肝心で、独善的な読みは意味がない。

よく「3手の読み」といわれるが、自分、相手、自分と正しく3手読めればそれで十分。プロ棋士は人目見て一番最初に浮かんだ手が最善手のことが多いが、それでもなお時間を投入して読むのは正しいかどうかの確認作業。

枚方には以前自宅で将棋教室を開かれてました田中魁秀九段がいて、現在は奈良に引っ越されてもう教室はありませんがお弟子さんに佐藤康光九段がいます。名人も3期獲ったことのある現在もトップクラスの棋士ですが、その佐藤九段が「緻密流」と称されて読む量とスピードが桁違いといわれます。よく比較される例えに、コンピュータが1秒間に1億手読むとしたら、佐藤康光は1億と3手読む、といわれています。コンピュータが実際読む手数は分かりませんが、最後の3手というところがミソで、あらゆる変化を読み尽くして、さらにコンピュータよりも3手正しく読む、と例えています。3手正しく読めるか、基本のそのまた基本なのです。

コンピュータの話が出ましたのでついでに言いますと、今現在は無理ですがいずれコンピュータがプロ棋士を負かす日がやってくると言われています。(以下省略)

今後の予定

4/6 (水)	・卓話 畠仲 聡 会員 ・定例理事会
4/13 (水)	・新旧ガバナー補佐訪問 ・卓話 金森市造会員 ・被選理事会
4/20 (水)	・卓話 「ロータリー雑誌月間にちなんで」 西田英夫広報委員長 ・100万ドルランチ
4/27 (水)	・定款により休会

2011年 3月～4月

月	火	水	木	金	土	日
3/28	29	30	31	4/1	2	3
		例会				
4	5	6	7	8	9	10
		例会 定例理事会				
11	12	13	14	15	16	17
		例会 被選理事会				
18	19	20	21	22	23	24
		例会 100万ドルランチ			地区協議会	

報告事項

○本日の配布物

・卓話資料(三木会員)

○行事等出席報告

3/25 献血チラシ配布 高島、山本、上山
 3/26 第2回職業奉仕委員長会議 北村
 3/29 地区協議会事前説明会 金森
 3/29 献血キャンペーン
 岩本、小西、宮田、高島、上山、上野、山本

○行事等出席予定

4/23 2011-12年度のための地区協議会
 山口(伊)、初木、三木、北川、畠仲
 國田、日野、中野、小林、森、金森

📄 「行事・延期中止のお知らせ」

*4月16日 枚方RC・くずはRC親睦ゴルフコンペ —中止

*6月10日 第3回日台ロータリー親善会議 —中止

<社会奉仕委員会報告>

献血キャンペーン実施

2011.3.29(火) 於: 牧野生涯学習市民センター

2011年3月29日 保午前9時半より 牧野小垣学習市民センターにおいて「献血キャンペーン」を行いました。



受付数 73名 採血数 50名 不採血数 23名

参加者(敬称略)

岩本、小西、宮田、高島、上山、上野、山本
 ご協力ありがとうございました



ニコニコ箱メッセージ(掲載順不同)

*ちょっとしたよろこびに

嶋田愛親

ニコニコ箱	合計	¥5,000	累計	¥842,000
-------	----	--------	----	----------

第1763回例会出席報告(3月23日)		
会員総数	出席者	出席率
58名	40名	70.59%
お客様 東 和男様(棋士)		
第1760回例会補正後出席率 74.51%		
メーク 1名	欠席 13名	除外 8名



発行 KUZUHA ROTARY CLUB

国際ロータリー 第2660地区

創立:1974年5月30日 承認:1974年6月25日

クラブ名称変更承認:2005年6月6日

会長 岩本 昌治
 広報委員長 西田 英夫

大阪府枚方市楠葉花園町14-2
 樟葉パブリックゴルフクラブハウス2F

電話 072-855-5125

FAX 072-855-5180

Email: kuzuha-rc@kcat.zaq.ne.jp

URL: http://www.kcat.zaq.ne.jp/kuzuha-rc/